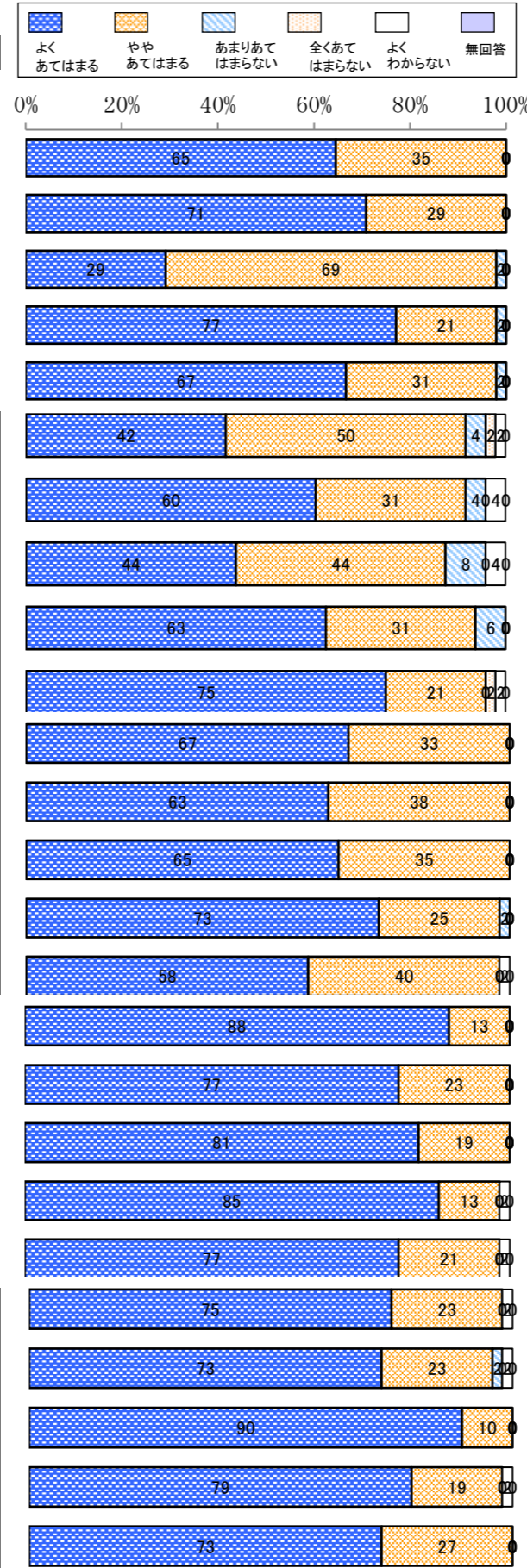


		アンケートの結果		上段：児童 下段：保護者等 グラフ：教職員					
		A	B	C	D	よく分らない	無答		
学校全体の様子	1	教育目標・方針	児童・生徒や保護者等と共有できるように学校の教育目標を示し、方針を説明している。	55	33	7	0	4	0
	2	児童・生徒の様子	児童・生徒は、明るく素直で、生き生きとした楽しい学校生活を送っている。	74	20	4	1	2	0
	3	基本的な生活習慣	児童・生徒の服装や通学態度、挨拶など基本的な生活習慣がしっかりしている。	58	36	4	1	1	0
	4	児童・生徒理解	児童・生徒の良さや努力しているところを見つけ、励まし、理解しながら一人一人の能力を伸ばすように努めている。	42	44	10	2	2	0
	5	健康・安全・安心	児童・生徒の健康や安全（確保・対策）に配慮するとともに、主体的に行動できる防災教育を充実している。	69	24	3	1	2	0
学力向上の取組	6	分かる授業	楽しく分かりやすい授業が実践されている。	58	33	4	1	3	0
	7	個に応じた指導	習熟度別学習等、児童・生徒一人一人の理解の程度に応じた学習指導が行われている。	61	31	4	1	3	0
	8	学習習慣	放課後の補充指導等を行うとともに、家庭での学習課題を提示する等、学習習慣の定着を図る工夫をしている。	61	24	10	2	2	0
	9	情報教育	タブレットPCなど、ICT機器を活用した教育を推進しながら、情報活用能力の育成に向けて取り組んでいる。	71	23	4	1	1	0
	10	学校図書館の活用	読書と学習に役立つ学校図書館として活用されている。	54	29	11	3	3	0
社会性・人間性の育成	11	人権教育	自他を大切に、偏見や差別を許さない豊かな人権感覚を育てる教育を行っている。	73	22	2	0	2	0
	12	道徳教育	生命を大切にす気持ちや他人を思いやる心、善悪の判断や規範意識を育てる等、道徳性をはぐくむ教育を行っている。	53	33	8	1	4	0
	13	教育相談	教育相談を充実し、いじめや不登校を防止する等児童・生徒一人一人の居場所がある学校づくりに努めている。	57	26	10	2	5	0
	14	人間関係づくり	学校行事等の教育活動を工夫し、体験活動を充実させながら望ましい人間関係が築けるよう取り組んでいる。	79	17	2	1	2	0
	15	自治的な活動	学級活動や児童会・生徒会活動等で、児童・生徒が自発的・自治的に活動できるように工夫しながら指導している。	66	27	5	0	2	0
保護者・地域との連携	16	情報発信	学校便りや学年便り、学校ホームページ等で、保護者や地域の方に、学校の教育活動の様子を分かりやすく知らせている。	60	25	8	3	4	0
	17	相談への対応	児童・生徒や保護者からの連絡や相談を丁寧を受け止め、適切な対応をしている。	60	31	4	1	4	0
	18	学校への参加	学校公開週間や土曜授業日、学校行事等では、保護者や地域の方が参加しやすいように工夫している。	63	24	7	3	3	0
	19	地域との連携	地域の行事などに協力的で、連携を図っている。	44	32	17	4	3	0
	20	意見の反映	保護者や地域から寄せられた意見や要望を受け止め、学校運営と教育活動の改善に努めている。	45	42	1	0	12	0
各学校の特色ある教育	21	地域学習	自分たちの住む地域や学校に愛着がもてるような学習を設定するなど、教育活動の充実を努めている。	55	31	11	1	2	0
	22	交流活動	他のクラスやほかの学年と活動する学習を設定するなど、多様な交流活動の充実を努めている。	47	44	1	0	8	0
	23	金管バンド	金管バンドの活動は、所属している部員はもちろんのこと、ほかの児童へもよい影響を与えるものになっている。	61	29	5	2	3	0
	24	読書活動	本を読む時間や本を借りる時間を設定したり、読書週間の定着に向けた取組を行ったりして、読書活動の充実を努めている。	50	40	2	0	7	0
	25	防災教育	金管バンドの活動は、所属している部員はもちろんのこと、ほかの児童へもよい影響を与えるものになっている。	73	18	3	1	5	0
				52	31	2	0	15	0
				46	31	17	4	2	0
				45	44	3	0	9	0
				73	21	4	1	2	0
				49	41	1	0	9	0

無効票を除く(%)



無効票を除く(%)

学校の自己評価（考察）

1～5の質問項目で肯定的な回答は、多様性等に配慮しながら学校として統一した見解のもと指導するという手だての定着が結実した。昨年度と同じに94%を超えた。多様性等に配慮し学校として統一した見解のもと指導する手だての定着が結実した成果である。前年度との比較で最も向上したのは3「服装や通学態度、挨拶などの基本的な生活習慣」で6ポイント上昇した。教職員では、肯定的な回答が99.8%に達した。2「児童・生徒の様子」について、保護者の肯定的な回答が前年度と比べ3ポイント向上し95.6%に達した。日頃の生活指導や学習指導の充実、児童の学校における学習活動の充実が、児童の達成感や有用感を産み、家庭での様子にも反映された。

7「個に応じた指導」は、前年度からの課題でもあるが、教職員の肯定的な回答が、91.7%なのに対し、保護者は82.5%と乖離がある。今後、取り組みを様々な職種と連携して、学校の取り組みを保護者へ周知する。9「情報教育」については、三者において94%を上回る結果となった。保護者の肯定的な回答が11ポイント向上した。その背景には、タブレットPC等を活用した宿題など、保護者にも伝わる取組が充実したことがあげられる。教職員の回答も17ポイント向上した。10「学校図書館の活用」については、教職員は前年度より16ポイント向上したものの、児童・保護者は前年度を下回る結果となった。司書との連携や学校図書館を活用した活動を今後もHPなどを通して周知するとともに、「図書館を使った調べるコンクール」への事前指導などの充実を図る。

前年度の課題であった、13「教育相談の充実」は、児童・保護者の肯定的な回答が改善した。9割には届いていないものの、「よくあてはまる」の回答が、それぞれ保護者4ポイント・教職員3ポイント向上した。多職種と連携し、社会性・人間性の育成に取り組んだ結果である。11「豊かな人権感覚を育てる教育」では、保護者の「よくあてはまる」が7ポイント、12「道徳性をはぐくむ教育」では児童の「よくあてはまる」が11ポイントも向上した。道徳授業地区公開講座等の充実とともに、学校だよりやホームページでの広報活動が実を結んだと考えられる。

前年度の課題17「相談への対応」20「意見の反映」では、保護者の「よくあてはまる」が5ポイント以上向上した。児童に全ての質問項目の相関関係を求めた結果、17「相談への対応」が最も他の項目との関係性が多かった。特に5「健康・安全・安心」や6「分かる授業」との相関係数が高かった。連絡や相談を受け止め丁寧な対応をする教師の存在が、安心感を生み出し学習への意欲を高めることにつながった。今後もこの姿勢を継続していく。20「意見の反映」で児童の「よくあてはまる」の回答が、27ポイントも上昇した。前述の取り組みに加えて自治的な活動が有用だった。他方、保護者は8割に届かなかった。意見や要望を受け止め、改善策の提示を可視化をさらに進めていく。

全ての項目がほぼ前年度と同等の値となった。今年度は特に教職員の回答が、前年度を大きく上回る項目が多かった。23「金管バンド」6ポイント、22「交流活動」15ポイント、21「地域学習」4ポイント向上した。特に、22「交流活動」では、教職員以外にも「よくあてはまる」の回答が前年度と比較しそれぞれ、児童11ポイント・保護者10ポイントと大幅に向上した。異学年交流や、特別支援学級との交流など、取組の深まりが明らかになった。5つの項目において、教職員の肯定的な回答が9割を超え、働き方改革を推進しながらも、特色ある教育活動において手ごたえを感じていることが、全体的な高評価につながった。